

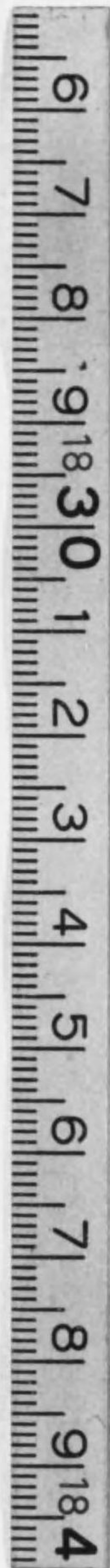
286

特241

902

横濱市永青木周三述

國民精神總動員



始



特241
902



橫濱市長青木周三述

國民精神總動員





この小冊子は去る昭和十三年九月六日神奈川
 會館に於ける青木横濱市長の講演を速記したも
 のである。

支那事變は第三期に入り武漢三鎮は陥落すると
 も容易に終熄するものではなく、却つて長期戦
 の重歴は加増するばかりであるから、お互は如
 何に困苦が身に迫るとも相戒めて弱音を擧げな
 いやら益々精神を固めなければならぬ。

皇軍が戦線に於て連戦連勝破竹の勢を以て大捷
 を博すとも、銃後の國民に悲鳴を擧げるやうな
 者があつては獨逸の二の舞を踏むことになる。

この爲に町内懇談會を開いて市民の覺悟をしつ
 かりと固むることゝしたのである。



國民精神總動員號

青木横濱市長講演會



目次

日本の安危盛衰に關る重大事	一
國民精神總動員の意味	四
戦争にはどうしても勝たねばならぬ	七
積極的理由	八
消極的理由	一一
何うしたら戦争に勝てるか	一五
我國は所謂持たざる國である	一五
非常時經濟政策に協力する途は種々ある	一七
戦争に勝つ爲には物資の統制が必要である	二〇
戦争には物質よりも寧ろ精神が必要である	二三
今迄の國民精神總動員運動	二四
支那事變の長引く理由	二七

支那の戦術	三
戦争が長引くと種々の困難を伴ふが之に打勝たねばならぬ	三
統制の結果に不平不満を抱いてはならぬ	三
最後の勝利を得るには何としても戦争に勝たうといふ精神の緊張より外に途はない	三
統制を亂すことは兵隊が戦争を嫌がるのと同じことである	三
貯蓄運動も亦戦争に勝つ爲に必要なことである	三
貯蓄は公債の消化と物價の騰貴とを防ぐ	三
統制による犠牲者には出来るだけの援助を必要とする	三
最後の勝利は思想戦に負けないことである	三
國民精神總動員運動が最も必要である理由	三
最も恐ろしい敗戦思想	三
ロシア帝國も獨逸帝國も思想戦が本で敗れた	三
敗戦思想は精神の緩みにつけ込む細菌である	三
日本精神の眞髓	三
結語	三

國民精神總動員

横濱市長 青木周三

日本の安危盛衰に關る重大事

只今神奈川區長さん社會教育課長さんからお話がありました。實は私は講演をすると云ふことに付ては少し其の任でないと思つてゐるのであります。先達つて記念會館でも講演と云ふやうにビラに書いてありましたが、講演は其の任でないのみならず私自身講演を聴くことが大嫌ひ、講演を聴くのと西洋料理を食ふことは洵に閉口するのであります。隨て諸君に講演を

すると云ふことはしたくもありませんし、又私も内に顧みて忸怩とするものがありますが、併しながら今度のことは是は好きだの嫌ひだの言ふて居られない、何とかして國民精神を一致させて、さうして所謂堅忍持久笑つて困苦に堪へると云ふ精神を緊張さして行かなければ日本の安危盛衰に關る所であります。

何とかして、どうにでもして國民精神を振り興さなければならぬ、それには何とかしたらよいかと云ふことで色々社會教育課長とも相談を致しました結果が是はどうしても矢張り町内町内の諸君にお願ひをして、さうしてどの家にも又どの人にも此の趣旨を理解して貰つて、さうして此の戦争にはどうしたらいいかと云ふことを相談して、其の結果どうしたらいいと云ふことが極まつたらそれを皆が行ふやうにする。丁度皆が一緒になつて歩行く中には疲れる人もある、私はもう脚が痛くなつたとか、尻が痛くなつたとか云ふものが出来て来る。其際に今そんなことを言つて居つちやあ大變だ一生懸命になつてもう少しのことだから、もう少し行けば茶店があるのだからそこへ行つて休まふと云ふやうにして、皆が一緒になつて手を引き合つて行かなければならぬ。

それには東京あたりから偉い人を連れて来て講演を頼んで見た所が、是はどうも私も嫌ひだが中には私と同じやうに講演を聴くことは餘りお好きにならない人も澤山あるだらうと思ふ。それよりは町内の人達丈で懇談をして一體どうしたらいいだらうと云ふことに付て皆が寄つてたかつて智恵を持寄つて互に相吐露して貰ふやうに町内懇談會を各町會で開いて、どうも此の國民精神總動員と云ふ運動は戦争の爲には是非必要だと云ふことを徹底させるに越したことはないと思ふ。其の意味で町内會長並に其の幹部の人に來て貰つて其の人達から懇談をして貰ふ方が東京あたりから偉い人が來て講演をするよりは其の町内の人が如何に訥辯であつても如何に偉らさうなことを言はないにしても、町内の人は肩を凝らさずに聞くから、是は

それには東京あたりから偉い人を連れて來て講演を頼んで見た所が、是はどうも私も嫌ひだが中には私と同じやうに講演を聴くことは餘りお好きにならない人も澤山あるだらうと思ふ。それよりは町内の人達丈で懇談をして一體どうしたらいいだらうと云ふことに付て皆が寄つてたかつて智恵を持寄つて互に相吐露して貰ふやうに町内懇談會を各町會で開いて、どうも此の國民精神總動員と云ふ運動は戦争の爲には是非必要だと云ふことを徹底させるに越したことはないと思ふ。其の意味で町内會長並に其の幹部の人に來て貰つて其の人達から懇談をして貰ふ方が東京あたりから偉い人が來て講演をするよりは其の町内の人が如何に訥辯であつても如何に偉らさうなことを言はないにしても、町内の人は肩を凝らさずに聞くから、是は

どうも何とか精神を振り興して、此の戦争には是が非でも勝たなければならぬと云ふやうなことを、男は勿論女も子供の末に至るまで徹底させるやうにするに越したことはないと言ふことに相談が一決して、此の間横濱市の全體の懇談會を先づ記念會館で開いた。

其結果として神奈川とか鶴見と云ふやうな大きな所で或は手の足りない所もあらうから、さう云ふ風な所では吾々甚だ其の任でないけれども、お手傳に行きますと云ふことを申出でました所が、それでは神奈川で今日開くからして手傳に来てくれと云ふことで参りましたので私は町内會の手傳に來た積りである。隨て此處では大した偉らさうな講演をする譯ではありませぬから其の積で御聞取を願ひます。

國民精神總動員の意味

國民精神總動員と云ふことは是はどう云ふことを意味するかと云ふと、是は洵に新しい言葉

で理窟に合はないけれども甚だ面白い言葉である。諸君はとうに御承知でありませうが、動員と云ふのは兵隊を集める。總動員と云ふのは豫備も後備も歩兵も騎兵も全部集めることである。動員と云ふことは人間を集めると云ふことである。精神の人間を集めると云ふことは語呂が合はないけれども非常に話がよく分る、皆の精神を一つ所に集める。精神を何處へ集めるかと言ふと此の戦争に勝たなければならぬと云ふ處へである。戦争に勝つにはどう云ふことをすれば戦争に勝てるかと云ふことを見付けて、さうしてそこへ以て行つて國民全體の精神を向ける、一つ方向に向けると云ふのが國民精神總動員と云ふことである。言葉は甚だ俗であるけれども、又非常に分りいい言葉である。私は之に限ると思ふ。

國民精神總動員と云ふものは政府がいひ出された言葉であるが、是はいい言葉だ。是がなければどうしても長い戦争には勝てない。言葉がいはかりでなく其の方法を取らなければならぬ此の頃の戦争と云ふものは決して兵隊さんだけが戦争するのではない。國民全體が戦争するのである。國民全體其の覺悟で行かなくちやならないのだが、之には國民の精神をどうすれば戦

さに勝てるのか、戦さに勝つには何をしなければならぬかと云ふことを十分に認識をして、さうしてそこへ以て行つて精神を集中する。例へどんな苦しみがあらうとも、命を捨てるやうなことがあつてもそんな個人の命位のことはどうでもいい、吾々の命位はどうでもいい、國家が此の戦争に勝つてくれなくちやならぬと云ふことを考へて、そこに全員が精神をもつて行かうと云ふのが國民精神總動員運動である。

是は段々に私の考へて居る所を詳しく申上げますが、決して浮いたやうな商賣の廣告——キャラメルの廣告なんかは國民精神總動員と云ふことが書いてあるが、そんな生優しいことぢやない、そんな浮いた考のものぢやない。茶化しぢやいけない、此のことは本當に國民の心の底から出て來た運動でなくちやいけない。此の間も或るリヤカーを見た所が、リヤカーに或はお菓子であるか辨當であるか知らぬけれども、例へばお菓子報國又は辨當報國と云ふやうなことが書いてある。辨當報國と云ふと、辨當を十分に精選をして國民に辨當のいいのを食はせると云ふのはいいことであらう結構なことであるが、辨當報國とあるから只で食はせるのかと云ふ

と金は頂いていいのを食はせると云ふ話なのであります。結構ではあるが我々が必要とする總動員もそんな商賣の片手間で行くやうなそんな生優しいことで出來る譯はない。

今言ふ通り吾々の命や一軒の家のことはどうでもいい。どうでもいいからして戦争に勝つ爲には總てを犠牲に供すると云ふ精神をこゝで振ひ興さうと云ふのが國民精神總動員の運動である。國民精神總動員と云ふことを先づ以て理解して頂かんと此の問題が目茶苦茶になつて來る。

戦争にはどうしても勝たねばならぬ

國民精神總動員と云ふことは結局戦争に勝たなければならぬ。戦争に勝たなければならぬと云ふことが先づ十分に理解せられないと云ふと、是は大變なことになる。戦争を始めれば勝たなければならぬと云ふことは甚だ明白なことであるけれども、何故戦争に勝たなければならぬかと云ふことを今頃になつて言ひ出すかと云ふことに付て、後程段々に申上げる積りであり

八
まするが、第一に戦争を始めたとしても勝たなければならぬ。生命を賭けて戦争にかゝつたことであるから、戦争に勝たなければ國家の生命を失ふことであるからどうしても勝たねばならぬと云ふのは當り前であるが、是はさう簡単に片附けないでも少し考へて見る必要がある。是には積極的の理由と消極的の理由とがある。

積極的の理由

何故戦争に勝たなければならぬか何故戦争を始めたか、此の戦争の目標と云ふものは何處にあるか、斯う云ふことも第一に考へて見なければならぬ。此のことは今日の懇談會には餘り詳しく申上げる時間もありますまいが、今度の日支事變の戦争と云ふものは將來東洋に平和を建設して行く爲である。此の東洋と云ふのは西洋から言ひ始めたことで日本から言ふと東洋と云ふのは可笑しな話ですが、西洋の方が先に言ひ出したからマア東洋でも結構だが、支那の國情と云ふものは平和を亂す國情である。之を叩き直ほして、どうかして東洋が平和になるやうな

方法を講じなければならぬ。支那が亂れて群雄が相争ふといふだけのことなれば吾々はそれこそ對岸の火事で日本には何にも關係ないことであるけれども、併しながら支那の亂れる結果として何時でも日本が引合に出される。さうして支那がまづいことをすると、やれイギリスだのフランスだのロシヤだのが支那の亂れに乗ずる、而して何等かの利權を得ると、夫が日本を壓迫する結果となる。是は日本としてたまらない。何とかして支那がしつかりしてくれないと云ふと、日本が安心して生活して行くことが出来ない。茲に於て支那の平和と云ふことが、支那を叩き直ほすと云ふことが、日本が安心して生活して行く爲に必要である。

支那が亂れる爲めに日本にどういふ影響があるかと云ふと群雄が各々國民を自己に引き付けることを競争する。蔣介石の政策の如き自分の政權を維持して行く爲めに、國民を自分に引付ける爲めに、日本が支那の敵である様に國民を指導するのである。是が日本に取つて甚だ迷惑である。蔣介石は何としても日本と云ふ國が東洋の平和を亂す國である、日本が何時でも支那へ以て行つてチヨツカイを出して、やれ滿洲を獨立さすとか、やれ臺灣を取るとか朝鮮も日本

が併合するとか、日本の政策と云ふものが日本の利益の爲めに支那を犠牲にするものである。支那の國民は蒋介石に倚つて何としても日本を叩き潰さないと云ふと支那の利益は伸長しないと云ふやうなことを總ての支那の國民に植込んで小學校教育から始めて行く、中學に於ても大學に於ても其通りである。これが爲めに初めは七八歳の子供の頃から其教育をするのだから十年か十二三年経つと國民全部が抗日精神に燃える様になる。何處の國でも隣國を敵と指して小學校教育をする様な危険な國はない。

それが昂じ昂じて來まして、あの蘆溝橋の砲聲となつて來た譯である。さうして支那の國民は何でも日本に敵對し、所謂抗日政策日本に抵抗して行つて日本を威嚇して行きさへすれば支那がえらくなるんだと斯う考へた。是は間違つて居るが、之にどうしても對抗して行かないと云ふと日本と云ふものは安心をして國を立て、行くことが出來ない。是はどうしても東洋の平和を確立する爲には此の戦争に勝つて隣國に此の如く敵對心を基礎とする危険極まる政權の存在を許さないことにしなければならぬ。是は積極的の目的であります。此のことを論ずれば或

は一晩か、つても二晩か、つても色々の議論がありませうが、是は先づ其の位に致します。

消極的理由

それなら消極的に戦争に負けたらどうなるか云ふことも考へて見なければならぬ。是は大變なことである。今日本と支那とが戦争をして居る。假に支那が負けたからと言つて吾々は支那の國を日本に併合しようとか、支那の領土に對して何等かの野心を持たうとか支那の國を潰そうとかいふ考はないのであります。また蔣政權は滅びても支那は繁榮こそすれ滅亡することはない。あべこべに日本が負けたとして考へて御覽なさい、どう云ふことになる、是は恐しいこととでなくちやならない。

ヨーロッパで所謂歐洲大戰の時にドイツが今もどなたかのお話にあつた通りドイツが敗けたドイツが敗けた結果決められた條約と云ふものは吾々がどんなに考へて見てもドイツの國で負擔出来るやうなことぢやない。其のドイツ戦後の條約と云ふものは私共も一通りも眼を通して

見ることの出来ないやうな、實に大きな浩翰な條約であります。それが獨逸國民が再び起つことの出来ない様にする爲めの規程でないものはない程である。例へば償金に見た所が結局ドイツが、幾年経ても支拂ひ切れない額を支拂ふ様になつて居り、其外凡ての事がとてもドイツの國民が堪へ得ることではなかつた。併し是は何が仕合はせになるか分らぬものでありまして、條約が到底出来ないことが規定してあつた爲にそれが仕合はせになつてドイツの國民は今起ち上つた。餘りに其の條約と云ふものがひどいものである、軍艦も叩き潰してしまふ、何もかも叩き潰してしまふ、償金は何十年の間其の國民が堪へ切れない程の多額を背負はされる。七千萬のドイツの國民と云ふものは百年経つても五百年経つても水平線の上へ顔も上ることの出来ない様に出来てゐて、どうしても立ち行かぬ條約が出来て居る。餘りに人間の業で出来ないやうな條約が出来た爲に、ヒットラーみたいな英雄が出て来て、そんなべらほうな條約はない、あんなものは反古のやうなものである、あんなものは捨て、しまへと云ふので義務も何も皆打つちやらかしてドイツの事は國民自分達ですつかりするんだ、嫌なら矢でも鐵砲でも持つ

て來いと云ふことで起ち上つて來た、此の間もヒットラーユーゲントがえらい立派ななりをし立派な體格をして日本にやつて來たのを見て喜びに堪へなかつたが、是はドイツに對する條約と云ふものが餘りにひどかつた爲に却てドイツ國民を振り興さして水平線上どころではない歐洲各國の上部に嚴然と立ち上らしたのである。併しながらヒットラーが出て來るまでのドイツの國民と云ふものは實にみじめ極るものであつた。若し此の戰に日本が負けたとしたら列國は支那をして日本に對しどの様な義務を負さしめるか想像に難くない。

ドイツは其の程度にして置いてそんなら東洋に於て戰敗ではないけれども、大した大きな戰爭をした譯ぢやないけれども、戰敗と同じやうな結果になつて居るものがある。例へば印度の國はどうである。是は此の日支事變見たいに大戰爭をした譯ぢやないが、何時の間にやらイギリスの支配の中に入つてしまつた其の印度の國民はどんな眼に遭つて居るかと云ふと是は書いた物にも澤山出て居ないのでありますが、印度には印度の大學もあります、色々な中學校もあれば小學校もありますけれども、是はほんの申譯程度のもので實際は小學校教育さへ

印度の國民には十分に施してないのであります。體裁だけは小學校も拵へ大學校まで拵へてありますけれども、小學校の教育さへ印度の國民は十分に受けてないのであります。

斯う云ふことは、日本なんかが朝鮮を併合して行きましたけれども、日本なんかのやることなんかとは非常に違つて居る。ヨーロッパの人達は此の皮膚の色の違ふ耶蘇教を奉じない者を人間よりも劣つた物だと考へて居つた、それであるから日本みたいな戦争に強い國民に對してそんなことは出来ないが、一旦日本が敗れたと云ふことになつたならば、何をやるやら分らない。國際間の事に理論もヘツタクレもありやしない利益のない處に權利はない。

かゝる中で日本が敗れたとすれば何うなるか、日本は三千年の光輝ある歴史を有つて居るが是が一旦敗れたとなつたならばこの歴史が消へるのみでなく日本の國も亦消えてなくなるのである。國が消えて國民が残る。こんな悲惨なことは想像することも出来ない。是はどうしても戦争には勝たなくちやならぬ。敗れちやならぬ。吾々は吾々の個人の體や財産はどうなつてもいい。死んだからと言つたつて叩き殺されたからと言つたつてそんなことはどうでもいい、吾々

の生命と云ふものは三千年前神武天皇の時からあり、是から永遠に續くのである。吾々の肉體なんかどうでもいいのである。我々の生命は神武天皇時代の父祖の生命より續いで今に至り將來に續くのである。その間に幾肉體は死んだであらうが、國民の生命は永續して來たのである。此國のあらん限りは此生命は續くのである。併し此の戦争に敗れたならば日本の國民と云ふものが亡びて此生命も終るのである。だからどうしても此の戦争には勝たなければならぬと云ふのが此の國民精神總動員の基である。

何うしたら戦争に勝てるか

我國は所謂持たざる國である

そんならば戦争に勝たなければならぬことは分つたが、どうしたら勝てるのであるかと云ふ

ことを第二に考へなければならぬ。第二に考へて見なければならぬのは戦争に勝つ方法はどうかであるかと云ふことである。今度は國民精神總動員の方面からして考へる。我が日本と云ふ國は本州だけに七千萬の人間が居つてさうして臺灣朝鮮を合併すると約一億の人民が居る大變な數の國民である、而もこんなに一纏めになつた國は恐らくヨーロッパに行つたつてない。大變な派な國民であるが悲しいことには所謂持たざる國である。

物資と云ふものは洵に缺乏して居る。諸君も御承知の通りに日本は火山國である何萬年も何十萬年も前から百年に一度とか、五百年に一度とか、一千年に一度とか大きな噴火があつて、富士山が飛び出して來るとか淺間山が飛び出して來るやうな變化が地中に起るのであるから、假に何かがあつて見た所が何もかも皆叩き壊はされて居る。土の中にあるものはバラバラになつて居る。金^チがあらうが、銀があらうが、銅があらうが、悉く何處にか吹飛ばされて居る。戦争をする爲には何でも物が必要である其の物資が必要であるに拘らず、日本は此噴火の爲でもあらうが洵に物資の不足して居る所の國である。況や領土が人口に比例して頗る狭い物資の不足

は最も甚しい何としても兵隊達が戦争するのに物に不足を生ぜぬやうにしなければならぬ。

支那の如きは未開の國であるからして、矢張り日本と同じやうに物に不足して居りますけれども併しながら骨を折つて相當な日にちを掛けると云ふと、あれだけの大きな國であるからして石炭であらうが金であらうが銀であらうが或はタンゲステンのやうなものであらうが支那には澤山あるのでありますが、日本にはいいものが見付かつたと言つても少し取るとすぐ無くなつてしまふ、後は尻切れになつてしまふと云ふ状態であるからして此の物資の不足を何としても補はなければならぬ。

非常時經濟政策に協力する途は種々ある

併ながら此のことは經濟的問題であつて、是は政府とか民間の事業家とか、三井とか三菱とかの偉い人にお願する外には仕方がない。吾々が一つ石炭を掘つて見ませうと言つた所が中々吾々の力には及ばない。是は政府の力なり民間の事業家の方にお任せしてそれにお願す

るより外に方法はないが、それならば吾々は何にもしないで居るより外に仕方がないかと云ふと吾々の任務は相當にある。例へば吾々は汽車の中で辨當を食つてお腹が太ると云ふと半分の辨當は何處かへ捨て、しまふ。大戦後外國から歸つた人が日本みたいに食物を粗末にする國民はないと言つて歎いたといふことである。實は物資の節約が足りない、何とかして物の節約をしなければならぬ。

それから又吾々は使ひ古した品物が相當にあるゴムの屑だとか錫の屑だとか鐵の屑だとか云ふやうなものも皆元へ返すことが出来るのであるからして、古い品物——廢品の回收と云ふことも馬鹿に出来ぬことである。

又近頃の流行りの代用品、是も又馬鹿に出来ぬことであつて、戦争の爲には革が要る、兵隊さんの靴になる、それに吾々がハンドバックだとか、旅行用の靴と云ふやうなものに革を使つて居るのは怪しからぬからして、それを兵隊さんの方に廻はさなければならぬ。吾々は何とかがて何かで拵へて行かうと云ふのが一つの考へ方である。是は皆吾々がやらなくちやならぬこと

である。

又金の問題に致しましても、吾々が不必要な所の金を使つて居る。是は文化の進む爲にやむを得ないことであつて、どうも金時計も斯う云ふ風な二圓五十錢のクローム側のよりは（自分の時計を示して）金時計の方が少し氣持がいいから普段金時計を持つて行く方がいい、金の指輪も嵌めて居る方がいいが是は今の時代にはいけない。金と云ふものは中々大切なものである。

何故かと云ふと日本には物資が足りない、外國からどうしても物を買はなくちやならぬ、日本の國の中で買ふならば公債で買ふことが出来るが、外國から買ふ時にはどうしても金で支拂はなければならぬ。我々の手に在つて時計とか指輪とかになつて居たのでは國家の爲めには何もならない。これが集まつて日本銀行の金庫にあれば日本の信用の基礎となる、金は物を買ふばかりでない日本にはもう金が少いんだぞと云ふことになる。信用が失墜して來るから日本の公債や爲替が皆ほろほろに下つてしまふ。さうなると日本が一億圓の財産があると考へて居るのに外國から見るとは三千万圓位しかないのでと云ふことになる。すると拂へるとか拂へぬと云ふ

ことになる前に信用の問題で行詰つて来る。政府や日本銀行なんかに相當な貯蓄があると云ふことが信用を繼ぐ所以であるからして此の金の退蔵をなくして日本銀行に集めるといふことは是も必要なことである。是等も吾々は相當な節約を加へなければならぬと云ふやうなことも、是は物の方面であります。

戦争に勝つ爲には物資の統制が必要である

又近來起つて來た所の物資の統制、是は實に大切なことでありまして、鐵だとか銅だとか紙だとか云ふやうなものは皆戦争に必要な所の品物であるから、一ポンドの銅でも一貫目の鐵でも先づ以て戦争の用に供して戦争以外の用には節約しなくてはならぬ。これ等のものが普段のやうに民間で使はれると云ふと、戦争に敗けることになる。幾ら便利であつても戦争に敗けちや困るんだからと云ふことになる。是も統制して行かなければならぬ。之を統制すると云ふと例へば銅ばかりで仕事をして居つた所の人、鐵ばかりを使つて仕事をして居つた所の人と云ふ

ものは失業をしなくちやならぬ。隨て或は轉業をすると云ふやうな色々な困難な問題が起つて來るのでありますが、困難が起れば不平不満が生ずる。不平不満が生ずれば悪思想に變ぜられる。だからそんな困難を突破して、どれだけ困難が起つても夫は何としてでも戦争の目的に副ふやうにしなければならぬ。

戦争の爲めには物の統制は非常に必要なことでありますけれども、此の問題は或る程度は政府が力を以てすることが出来る。まだ政府は統制と言つてもそれほどことをしないで居りますけれども、必要とあるならば物資の總動員の法律を適用してお前達のもつて居るものは皆政府へ出せ、取上げるんだ、代價は公債で拂つてやるが、物は皆取上げるんだと云ふやうなことも出来る。又或程度までは或はお金することも出来る。例へばほろ屑が一貫匁五十錢したものが一圓になつたならば五十錢の倍で買つてくれるならば、私の方はもつと探して出しませうと云ふやうなことも出来る。

戦争には物質よりも寧ろ精神が必要である

併しながら物さへあれば戦は出来るかといふと決してさうでない。戦争は寧ろ精神でなければならぬ。このことに付ては後に猶精しく述べる機会がありませうが、物の方は法律の力、政府の力或は金の力と云ふやうなもので大部分補ふことが出来るけれども、精神の方はさうは行かない、どうしても精神は矢張り國民の心の中から湧き出て来る所の力でなければどうすることも出来ない。法律を以て此の政府の國民精神總動員の方針に背くものは懲役に處すと言つてもそれは何にもならないことでもあります。統制に對して不平不満を言ふてはならないといふ法律をこしらへても亦何の役にも立たない。だから法律の力でも金の力でも行かないのは此の精神でありますそして何よりも一番必要である。是が即ち吾々が今やつて居る所の運動である。國民の精神を戦争に捷つ方法に向けると云ふことはどうしても法律だけの力、金だけの力、では出来ない。茲で吾々が今日お忙しい中を是非國民精神を振ひ興す運動をやつて下さいと云ふ

ことをお願ひする所以もそこにあるのであります。

戦争は兵隊さんに任かして置く、戦争は兵隊さんがしてくれからいいと吾々は戦争をしてゐる國民でないやうなことを考へてゐるものもあるが、吾々の子供や吾々の兄弟が戦争に行つて居るのであります。戦争に行つて、所謂盡忠報國の精神を以て戦争をしてゐます。敵前に於て身命を顧みず戦をしてゐる精神と吾々がこゝに唱へてゐる總動員の精神とは一つのものである。吾々に此精神にゆるみを生ずれば兵隊さんの精神も亦ゆるみを生じます。戦争に行つて萬歳を叫んで敵の弾丸に當つて死んで行くと云ふ精神と同じ精神が國民になれば何うして兵隊さん丈に此精神が発揮出来ませうか。

是は第一の理由でありますけれども是は如何にも明かなことで説明するまでもないことである。今こゝで兵隊に行つて居る人達の事まで骨を折らなくても夫は軍人を直接に指揮してゐる人にお願ひして吾々は先づ此の家に残つて銃後の守りをして居る所の人の精神だけでも一つ纏めて行きたい。是は將來兵隊に行く人の爲にどれ位精神を培ふ力になるか分らない。今戦争に

行つて一人でも卑怯な振舞をすることのないやうな、何處の戰場に行つても美談に満ちて居る所の所以と云ふものも皆國民精神の力である。

此の間私は新聞を見て實に泣いたのですが、傷付いた兵隊さんが懐から一通の手紙を出して戦友に此の手紙を一つ読んでくれと云ふて、其のお母さんから來た手紙を戦友に渡した。讀んで見るとお母さんの手紙は卑怯な眞似をしないで死んでくれと云ふことが書いてあつた。夫を聞いた傷ける兵隊さんはア、さうかと言つて物も言はないで死んで行つたと云ふことが書いてあつた實に美談だと思つた。この親にさう云ふ風な精神があつて前線の兵にも之が反映して強い軍隊となるのである。此精神を振ひ興さなくては此の戦争には勝てないと云ふことを申上げて置きたいと思ふ。

今迄の國民精神總動員運動

今度の戦争が始つて既に一年三ヶ月であります。此の今までの間の國民精神總動員の運

動はどうであつたかと云ふことを回顧して見ると言ふと、洵に心細い此儘ではいかぬ。國民精神總動員と云ふものが必要だと云ふことを言ひ出した。洵にさうである。是がなければ此の戦争と云ふものは勝てないと云ふことを私は前にも申上げましたが、そんならと云うて政府とは言ひませぬが日本の國民のやつて居る所の國民精神總動員と云ふものは果して其目的に適つてゐるかと言ふと、洵に浮つ調子なものである。こんな浮つ調子なものでは此の大きな戦争は出來ない、國民精神總動員はお菓子の廣告にもある。國民精神總動員神社参拜團體歓迎と言つて鐵道省のビラにも書いてある。國民精神總動員納稅報國と云ふやうなことを大藏省のビラにも書いてある。報國は切手からと言つて逓信省の廣告にも書いてある。中には東京市の總動員運動では、街で痰唾を吐くな國民精神總動員、と甚だ廣く行互つてゐる様であるけれども其調子の浮いてゐること。眞剣味のないこと此上ない。是は皆戦争がなくても何時でも必要なことである。いはゞ言ひ古したことである。聞く人には又あれかといふ感じを起させる、こんな浮つ調子なことでは此の戦争に勝てる筈がない。國民精神總動員はもつと深刻なるものでなければならぬ

と云ふのが私共が心配して居つた所のことである。

今日までの戦争と云ふものは支那に對する戦争即ち日清戦争を経て來て支那の兵隊に對する所の日本人の考と云ふものは洵に輕薄なものであるのであります。チャンコロ位なんだと云ふやうな考がどの人の頭の中にもあつたのであります。國民精神總動員は政府の偉い人達が言ひ出したことであるけれども、國民は支那との戦ならそんな深いことは要らない、支那の兵隊なんか叩き潰すのは譯はない。日本の兵隊さんもさう考へた。日本の國民もさう考へた。併しながら政府の國民精神總動員を言ひ出した所の人達やもつと深い考を懷いて居る人達は之を非常に憂慮した。斯う云ふやうな浮つ調子なことではえらい戦争は出來ないと云ふことに非常に憂慮して居つた私共も其の一人であつてこんなに國民が浮つ調子なことでは、此の長い戦争は出來ない、此の戦争は決して短くはない。早く片附く譯はない。早く片附くものならば三月や四月で片附いてしまふ。それより越せば決してさう易しく片附かない。

支那事變の長引く理由

事變の長引く理由に付ては色々見方もありませうが、併しながら私の考へて居つたのは今でもやつて居りますがスペインの内亂であります。スペインの内亂と云ふものは是はスペインと云ふ國が元はひどく頑健な國民精神の旺んな國であつたのが段々に赤い思想に塗り潰されて來て段々に共產主義者が殖えて來た。到頭選挙をするたんに社會黨が議席を占めて最後の時には殆ど大部分の國會議員と云ふものが所謂共產主義者で占められた。茲に於てスペインの古來の精神の傳統を享け繼いで居る所の國民派は是ではならぬ。是ではスペインは滅亡である。スペインがソビエトロシヤに降参するのである。斯う云ふやうなことはスペインの國の滅亡である。是は最早政府に對して武力を以て争ふより外に仕方がないと云ふことから始つたのが此のスペインの戦争である。さうして武力を以て政府に對抗をして行つてそこに内亂が起つて來た。

初めはスペインの國の中の内亂であつて片付くものならば三月か四月で片付いて居つた。さうすればスペインはどつちが捷つか知らぬけれどもがあれ程の騒ぎは起らなかつたのであるが中々兩方が頑強であつた。其の中のロシアの所謂人民戦線派は今人民戦線派を潰したならば、吾々が世界を赤化しようと思ふ所の希望は全く零になるから、是は是非とも國民戦線派を叩き潰さなければならぬと云ふのでロシアが義勇兵や弾薬を送つた。それでは吾々の國も赤化されるからロシアが義勇兵を送るならば吾々の方も國民派を建て、行かうと云つて、ドイツとイタリアが反對の方に義勇兵を送つた。初めはスペイン人の内亂であつたが、ヨーロッパの強國がスペインの領土に行つて戦争をして居る。ヨーロッパ大戦の模型である。ロシアが片つ方に付いてイギリス、フランスが聲援を送つてやつて居る。片つ方はドイツとイタリアと云ふことになつて居る。是は早く片付くべきものが既に二年を過ぎて居るが何時片付くか分らない。併しながら是が世界の趨勢である。

蒋介石は以前には共産黨に對して彈壓を加へ、共産主義者を數百人牢屋に繋いで居つたので

ありますが、日本と戦争が始まると同時に共産黨と手を握つてそれ等の牢屋に入つて居つた共産主義者は全部釋放してしまつた。さうして共産主義と手を握つて日本に當らうとしてゐる、共産主義者の方では第一に支那を赤化しようと思へて居る際でありますからして、蒋介石と結んでこゝに始めて支那と所謂ソビエトロシアとが手を握つて日本に當ることになつて來た。日本の方では別に兵力を借りる譯でもありませんが、さう云ふことになつて日本が負けちや大變だと云ふやうなことからしてドイツやイタリアが日本に同情を送つて居ります。日本は外の國から兵を借りて支那と戦ふ必要はありませんが、イタリアとドイツは日本に同情を寄せて居る。

其の反對にイギリスとフランスは是は別の考でありませうけれども、支那に持つて行つて或は金を送る。或は聲援を送つて援助をして居る。或は支那には何にもしないでも日本に何とかんとか抗議を申込んだり嫌がらせをしたりして支那に對して利益になるやうな行動をして居る者も居る。是はイギリス人にとつては如何にも無理からぬことである。日本が支那と戦争をし

て支那に日本が勝つた場合を想像すると、日本は支那に對して如何なることでも振る舞ひ得る、さうするとイギリスは日本より先に支那との交通を開いて支那の研究と云ふものはイギリスは非常に詳しくやつた。所謂楊子江長江沿岸にあるイギリスの權益と云ふものは非常に大きなものでありまして三十億パウンドと言はれて居るのですが、今の相場で直せば約六百億圓の投資をして居る。日本が支那の主人となると云ふことになつたならばそれ等の投資と云ふものは總一文も値打がないやうになるかも知れませぬ。是は何としたもイギリス人の權益を擁護する爲には支那に勝たせなければならぬと考へるのは是は無理もないことであらうと思ふ。それは無理であるか無理でないか知らぬが、フランスもイギリスと同様な考を持つてゐる。それにもつて行つてソビエトロシアが支那の尻押をして居る。斯う云ふことになつて來ると云ふとさう早く片付かないと云ふことにならざるを得ない。假令蔣介石が早くお仕舞にしようと思つても英佛露がさうはさせない。

支那の戦術

そんならば支那では日本を負かすにはどうしたらいいかと云ふことを支那側になつて考へて見ますると云ふと、是は此頃の所謂ゲリラ戦術と云ふものが新聞なんかで屢々見られるのであります、之をやる。是は必ずしも今度の日支事變になつて蔣介石が發明した所の戦術ぢやないので、古くからある戦術でありまして日本見たいな強い軍隊を有つて居る國に對しては廣漠な領土と弱い軍隊を持つて居る國が對抗する場合には此の戦術が一番いい、日本が上海を攻めて來る。上海が守れなければ南京に移る。南京が守れないことになつたらば漢口に移る。漢口が守れないことになつたならば重慶へ移る。さうして行くこと云ふことは日本は大きな軍隊をのろのろと押して行つて結局兵隊の食ふものから着るものから皆日本から運んで來る。さうすると日本は經濟力で行き詰つて來る。だからして今に日本が負けるんだと云ふことを言ふ。

一應は其の理由がいいが、其戦術は今申しました通り、蔣介石の發明した戦術でない。古くか

らある。ナポレオンがロシアを攻めて行つた。ナポレオンと云ふ人は戦争のうまい人であつた。何處へ行つても戦争に敗けたことのない人である。一番終りにイギリスと戦争して敗けたのであるが其外は負けたことがなかつた。併しロシアへ攻めて行つた時には敗けた、ナポレオンの軍隊が、ロシアの街に攻め入つて來ると、ロシアの兵隊はすーつと引いてしまつて、家も焼き拂ひ食糧も何も全部焼き拂つて廣漠たる原野にしてしまつた。ナポレオンの兵隊は飯を食はふと思つても皆焼かれてしまつた。泊まらうとしても家がない。食糧から寝具から皆運んで持つて來なければならぬ。攻めて行けば攻めて行く程どん／＼奥へ行つてしまふ。是はどうもロシアと戦争をしてはたまらないと言つて引上げてしまつた。此の手に限るんだと云つて弱い國で廣い領土を持つて軍備の少い國家は此の戦術を使ふ。是はどうしてもこつちに永い戦争に堪へるだけの方法がなければ此の戦争には勝てない。

是位のことには日本で今になつて驚くことぢやない。初めから分つて居る。私共みたいな素人でも是は分つて居る。戦争の始めから之が三四ヶ月で片附けば別だが、夫より長くなれば相當の

長日月を要する覺悟をしなければならぬと言ふて居た位で僕のような素人でさへ此位の考を持つて居た。日本の廟堂の偉い人達に此位の勘定のない筈はない。只國民全部に此長かるべき戦争に應ずる覺悟が必要だ。

戦争が長引くと種々の困難を伴ふが之に打勝たねばならぬ

茲で私共は戦争が始まると直に國民精神を戦に勝つ方向に專一せしむる運動、即ち精神總動員運動と云ふものは必要であることを痛感してゐた。政府の當路者も同じであるのであらう。然るに戦争の初に方では日本にも何處で戦争して居るんだと云ふやうな人が居たやうですが、段々に長くなつて來ると云ふと、色々な困難が生じて來る。戦争には勝つて來るけれども、苦しみは多くなつて來る。租税は高くなつて來る、物價は騰て來る、物資は統制せられる、收入は思ふ様に殖えないといふ様に色々な困ることが起きて來る。こんな苦しみをして居つて戦争は何時になつたならば止まるんだらうと云ふやうな考が起る。是が起つたならば戦争は敗ける。

その譯は是非後に詳しく聞いて頂きたいが、どうしても困難に打ち勝つだけの精神を練つて置かなくちやならぬと云ふので、そんなら何が来るんだと云ふと、困難は前以て考へて居つてもちよつとどう云ふ困難が来るのか分らない。まだまだ是から先に思ひ知れない困難が起つて来るかも知れませぬ。それはどうしても其の困難に打ち勝つんだと云ふ精神がなければ、此の戦争には勝てないと考へましたからして、何が来るのか分らないが、今の所は一つもあてのないことではありまするけれども、臍下丹田に力を入れて氣を落ち着けて、どんな困難でもいぢつしやいと云ふ覺悟がなければ此の戦争に勝てない。

次々に色々の困難が生ずるであらうが、困難が来た時に其に應ずる策を其時に致すであらうが今の所は眼に見えた困難も来ないので、困難が来た時には朗らかにして「ナア、これ此の事など笑つて堪へ忍ぶと云ふ所の覺悟を定めて貰ひたいと云ふ考へでありまして、**莞爾として困難に堪へよ**」と云ふ事をスローガンに矢でも鐵砲でも何時でも来いといふ態度を作つておいたのである。已に現在に於ても各種の困難が現れて来た。是位の困難はお茶の子さいさい

で何でもないのでありますが、是から先どの位の困難が来るか分らないことだけは覺悟して居なければならぬ。

戦争は最後の五分間で極る、辛抱が肝腎だ、夫ならば今どんな困難が起つて来て居るか云ふことを諸君に申上げて置く所の必要もあらうと思ふのであります。先以て親子兄弟朋友が召集せられて家を捨て、戦に赴く、これは家に居る者としても容易に堪へ難い困苦である。併し是は行く人も留る人も豫て覺悟のあることであるから驚かない。是が日本の軍隊の世界無比なる所以であるが、近來の戦は兵隊ばかりでは出来ない。國民が皆な戦に赴かなくてはならぬのであるが其覺悟の方は此様に立派に出来てゐない、是が困難なる所以である。

一番先にガソリンの節約と云ふことが起つて来る。近頃は段々に是は諦めて参りましたけれども、一番初めに困つたのは金持の人である。今まで自動車に乗つて一つも歩いたことのない電車にも乗る方法を知らなかつた人が、此の頃段々にガソリンを制限せられるために、一日別荘へ行つて来ると一月分のガソリンがなくなつてしまふと云ふことになるので、洵に困つたと

言つて居る。此の頃は大分なれて来たがさう云ふ風なことになつて来た。併し物資をトラックによつて運搬することに慣れて来た人達は容易ならぬ困難である。

次に金を節約しろといはれ出した、金は今までは十八金以上を持つて居ないと云ふと金らしいやうに考へられなかつた。是は日本が一體贅澤なのでありますが、西洋などは大戦争が始まる前から十八金を使つて居る所は少いイギリスの外は殆どないと言つていい。イギリスは金に困らない國であるけれどもドイツは九金以上は使はせなかつた。アメリカは稍々自由の國でありますけれども國內使用の物は十四金以上のものは使はせなかつた。日本は金に對しては稍々贅澤であつたのでありますが、先程も言ふ通り金と云ふものは斯様な物資の不足して居る所の日本にとつては洵に重大なる所の品物であります。是は是非金を節約しなくちやならないと云ふことからして、金の節約運動が起つて来た。

其外に日本は絹は輸出しますが綿と云ふものは一匁も出来ない。吾々が着て居る所の木綿は全部アメリカ又は印度等から輸入して来るのである。此の輸入して来るのも結構であります

るが、それには金が必要なのであります。之をどんどん輸入すると金が不足して来る。金が不足して来ると云ふと日本の爲替が下る。日本の金に對する所の信用が薄くなつて来る。さうすると云ふと物價が例へば綿の値が上つて来る、今までは一貫匁六十錢で賣つてくれたものが、日本に金が不足して来て何時拂つてくれるか分らぬと云ふ手形に信用がなくなつて来ると一貫匁一圓二十錢お出しなさい。一圓五十錢お出しなさい。一圓八十錢お出しなさいと云ふことになる。物價が上つて来ると云ふことは國際關係に於て非常に困ることです。

統制の結果に不平不満を抱いてはならぬ

近來統制が旺んになつて来ると云ふと、所謂殷賑工業——旺んに軍需品工業をして居る所の當地の如きは工場が澤山ある。工場街の職工さん達は非常な金儲けが出来た。反對の軍需品の工場でない所では、或は靴屋さんだとか或は銅壺屋さん或は大工さんとか云ふ様な所は物資を統制せられて革を使つちやならぬ、トタン板は使つちやならぬ、ブリキ板も銅の板も使つちや

ならぬと云ふことになつて來ると云ふと仕事は上つたりと云ふことになつて來る。

さうすると色々困難が生じて來る。さうして片つ方には色々の其の股賑工業に従事して居る所の従業員は、お金がたんと儲かるからして勝手氣儘な振舞をする。すると今まで大根が一本十錢だったものが十五錢になる、二十錢になる、物價が騰つて來る位のことには仕方がないことであるが、私の買った大根の金は八百屋さんの手に入つて、それが又私の月給になつて來るか構はないやうであります。それはいけない、物價が昂れば勞銀が上つて來る、今まで世界に對して日本の勞銀が安いと云ふことが一つの原因で輸出が旺んである。所が勞銀が高くなり原料品は高くなると云ふと、輸出はなくなつて來る。西洋で拵へた方が遙かに物が安いと云ふやうになつたならば、日本の品物を買ふ人はない。今でも日本が憎くても品物が安ければ矢張り買ふ氣になるが、それが日本の品物が高くなつたならば、なんほ日本が好きでも誰も買はない。

今日日本は輸出に依つて輸入が出來て居るのに、輸出が止つて來ると物資は不足するばかりになつて來る。そこで物價の騰貴と云ふものが非常にこわい。是等も矢張色々なことをして統制をして行かなくちやならない。其の結果としては此頃景氣が好いから儲かるからと言つて賣らうとしても、政府は何を幾ら以上賣つちやならぬとか、例へばゴム管は一尺一圓二十錢以上賣つちやならぬとか色々難しい制限を着けて來る。それに依つて仕入値段と小賣値段と幾らも違はないと云ふことになる。是では折角の景氣がついても儲からないと云ふことになる。片つ方は税金はどんどん取り上げられる。そこで不平不満が起つて來るが、これが精神緊張の行つまりとなるのである。そこで困難に打ち勝たうとすれば方法が無いでは無いが、その爲めに不平不満が起つては方法を講ぜぬ方が増して來る。さればといつて成行放題にしておけば戦争は敗である。何れにしても戦敗を招くのである。

最後の勝利を得るには何としても戦争に勝たうといふ
精神の緊張より外に途はない

此間に在つて此等困難を調節して行くには何としても戦に勝たうといふ精神の緊張より外にはない。是が最後の勝利を致す爲めであつて所謂國民精神を總動員して何んな困難にも戦争の前には堪へ忍ばなければならぬ。我々の贅澤心や商賣上の利益の様なことは愚の事、一身一家でさへ國の勝利の前には喜んで犠牲に供するといふ覺悟がなければ長期戦争は出来ない。

此の場合我々が唱へる國民精神總動員といふことはお祭騒ぎや不斷の有り觸れたこと、は違つてもつと／＼悲惨な眞剣な痛切な覺悟を促さんとするものである。税金を納めろとか、野や山やに遊んで身體を強くしろとか、町に啖唾を吐くとか、キャラメルをお買ひなさいとか、そんな浮いた有觸れた道徳を言ふのではない、今日の前に迫る戦争の勝敗を決する國民の覺悟を呼び起さうとするのである。切端つまつた問題である。悠長な孫子の問題では無くして現在の國民の覺悟の問題である。だからこれはまた賢い二三の人の問題ではない。國民全體の問題である。女も男も年寄も若い者も皆の問題である。従つて拔馳忌避落伍を許さない問題でもあることを承知して戴き度い。

統制を亂すことは兵隊が戦争を嫌がるのと同じことである

先程も和田君から講演がありました、何うしても國民が一致して行かなくちやならない。一致すると云ふことの反對を考へて見ますと云ふと、此の拔け馳け、是は一致しないといふこととであります。甲乙の人よりは丙の人が先へ行つて功名をしようとか、或は金持にならうとか名譽を得ようとか云ふやうなことをする爲に、外の人より馳け出す。是はいけない。皆が一緒に揃つて行かなければならぬ。拔け馳けは絶対に禁物である。例へばあんなことを言つて市長は講演をして居るけれども、蔭で私一人贅澤をする位のことは大したことぢやないから、まあ私だけは贅澤を人に知れぬやうにしようといふことは、是は拔け馳けである。是を皆が拔け馳けをやるとそれが爲に物價の騰貴と云ふやうなことが起つて来る。

又忌避と云ふことがある。こんなに統制が喧しくなつて仕様がなから何か統制を避けてこゝで儲けてやらうと云ふやうなことからして、噓か本當か知りませぬけれども大阪の商人が三

千噸の船で綿布一杯積んで之を持ち出して何處へ行つたか行方不明と云ふことが新聞に出て居りましたけれども、さう言つたやうな統制を亂して逃げ隠れをして居るのは是は所謂徴兵忌避と同じである。吾々は戦争して居るがどうも俺は戦争に行くのは嫌だからして戦争には行かないと言つて徴兵を忌避するのと同じことである。兵隊さんが戦争を嫌がったらどうなりますか、國民が統制を亂せば結果は同じことである。物資の統制を亂して蔭で金儲けを計ると云ふことがあつちやあどうしたつて此の戦争には勝てない。

又落伍をすると云ふことも甚だ困る。抜け馳け、忌避、落伍、是は戦争の際に於て困ることと同じことで、そこで國民精神總動員の運動に舉國一致と云ふ看板を掲げたのもそこにあるんだと考へます。兵隊さん許りが戦つたのでは勝利は得られない。我々國民全部が兵隊と同じ様に戦争をしてゐるのである。我等も戦士であるといふ覺悟で、是非皆が心を揃へ舉國一致し精神を總動員してさうして、此の戦に勝つと云ふ精神を振ひ興さなくちやならぬと思ふ所以があるのであります。

貯蓄運動も亦戦争に勝つ爲に必要なことである

貯金運動は亦戦に勝つ一の方法である。貯金をすると云ふことは非常にいい、こんな結構なことはない、將來に備へる爲に今儲つた金を銀行に貯金をして置くのであるから悪いことぢやないことは分つて居るけれども、此場合の貯金は自分一個人の爲めの道德の目的ではないのである。戦争に勝つ方法として貯金を勤めるのである。自分の慾望を満足させる、即ち忌避精神を以て儲かるのだから結構ぢやないか、今までだつて子供にも女房にも贅澤なことをさしてやらないのだからして、こんなに儲かるのだから少し位はいいぢやないか、將來自分が貧乏になつたつて俺さへ我慢をすればいいぢやないか」と考へるのは無理はない。併し皆がそれをやると、物價が騰貴する。物價の騰貴ほど戦争の爲にこわいものはないことは前に申上げた通りである。そこで皆が協力してやらないと云ふと此の問題は出來ない、贅澤をしてはいかぬと云ふことは幾ら法律を以て定めて見たからと言つても是は出來ない。徳川幕府の末期に水野越

前守が贅澤禁制の法制を定めて見たが國民の協力を得なかつたから何の役にも立たなかつた、是は法制の力なぞでは何うすることも出来ない。國民の腹の底から盛上る精神の力でなければどうにもならない、こゝが一番大切な所である。

前の大蔵大臣の賀屋君が此の神奈川縣に来て横須賀、横濱、川崎三市に於て貯金の勧誘をしてくれた、又此頃も三土君や何かと共に工場に行つて貯金の勧誘をして居ると云ふことは非常に有難いことでありますが、何の必要があるかと云ふと、今申した點にあるので、これ丈の戦争をするには非常な大きな金が入用である。

貯蓄は公債の消化と物價の騰貴とを防ぐ

戦争に要する金は元より税金も取立てるが夫はほんの小部分でありまして、本年度にしても軍費は五十億であるが税金の増徴は僅に其内三億圓に過ぎない他は皆公債によるのである。そんなら其公債の金は何處から出て來るかと言ふと、皆國民の貯金から生して來るのである。政

府は戦争をする爲めに公債を發行して軍費を支辨する。國民は軍需品を供給して其金の支拂を受ける其金を貯金して、それが公債となる。これがぐる／＼廻りに圓滑に行けば何年戦争したつて軍費に窮することはないのであるが、我日本の如く物質の少い國ではそう理想的には物が動かない、鐵が足りない、銅が足りない、ゴムがない、綿がない、油がない、バルブがない、是等は皆戦争に必要なものであるから金を出して外國から輸入しなくてはならない。従て五十億圓の軍費の内から外國へ出て行くものが少くない。年々大部の金が外國へ出て行くことになればいくら金があつても永續する筈はない。況んや我國の金は八億かそこいらしかないのであるから外國へ出て行く段になると一年でも足りない、是は何としても貿易によつて補はなければならぬ。

然るに若し國民が儲けた丈け蔭に消費をして贅澤をすると必然の結果として物價騰貴を來す物價騰貴の結果勞銀の騰貴となる。今迄日本の品物が外國に買はれてゐるのは品物が安いからである。然るに物價騰貴の結果勞銀が上れば輸出は必然に止まつて來る。そうなると金は決河

の勢で外國に出て行く様になる。金が出て行くまでもなく日本の國庫が窮乏して來たといふ聲だけで外國の爲替の價格が下ると益々物價は騰貴する。輸出は出來なくなる。

左様になつたら如何に兵隊が強くて戦争は出來ない、支那や外國が狙つてゐる處も其處である。日本は今に經濟的に行きつまるのである。戦争には負けても長引かせれば結局は勝てるんだと長期抗戦を叫んでゐるのは是である。前の大藏大臣や次官が親ら工場に臨んで貯金の勧誘をしてゐる所以も是に在るので、畢竟貯金は政府の發行する公債の消化と贅澤を抑へて物價の昂騰を防ぐといふ二つの目的を持った戦争の爲めに最も必要なことである。

それならば貯金をすると云ふことは其の人達にどんな苦しみがあるかと云ふと、それは今の苦しみであつて將來は楽しみである。而も是は個人の爲めではない國家の爲めである。まア貯金の方はさう苦しいことぢやなからうから、是はやるのに譯はないことだらうと思ふ。

統制による犠牲者には出來る丈けの援助を必要とする

次に來るものは統制である。物資の統制と言つてもそれ自身はそんなに難しいことぢやない政府の方から考へると、そんなに難しいことぢやないが、統制をされてそれが爲に商賣の出來なくなる人から考へると、是位辛いことはない。私は親父の時代から筆を拵へて居る、私の親父は筆を拵へる職人である。私は親父にならつて筆を拵へて居る。私の子供にも筆を拵へることを教へて居る。所が政府は筆を拵へてはならぬ、毛筆を拵へることを禁止した。さうすると其の職人は機械を運轉すると云ふことも出來ない。筆を拵へる以外に何も出來ない、先祖代々やつて來た所の仕事を取り上げられてしまふ。是は實に苦しいことである。併し逃げ隠れをしてゝも筆を拵へやうと云ふのでは戦争は出來ないから是はどうしても統制に随つて貰はなければならぬ。

是ほど苦しいことはないと考へるが、片つ方に兵隊さんのことを考へる。兵隊に採られるのは嫌だ、私は人殺しに行くのは嫌だと言つたつて、そんな譯に行かない。是非行つて貰はなければならぬ。私は兵隊に行つて死ぬる爲に生れたのではないと云ふことを皆が言ひ出したなら

ば日本は戦争が出来なくなる。筆の毛は軍需品であるから、筆を拵へられては軍需品が足りなくなるから、筆を拵へてはならぬ。併し其の人は失業する。筆を拵へて居れば一日に十圓の儲けがあるが筆を作ることは出来ないから旋盤を是からならつてやるとすると假令出来ても一日一圓五十銭しかとれないとしたら當人に取つて是程苦しいことはあるまいと思ふ。併し兵隊に行つて御覽なさい。兵隊と云ふことになる、今まで家に居つて樂にして居られたのが、戦争に行けば或は彈丸に當つて死ぬるかも知れませぬ。或は死ぬるより苦しいことがあることも考へられる。夫でも是又統制に従つて兵役に就いて貰はなければならぬ。

統制に従つて貧乏し困難をして居るのを傍で以て吾々は見て居るが、洵に有難いことである兵隊に行つてくれなければ戦争が出来ないと同じやうに、黙つて轉業してくれなければ戦争に勝てない。轉業してくれたと云ふことは實に有難いことである。是は當人にとつては非常に困難であるが、此の困難を忍んで犠牲に甘んずる人々に對しては實に敬虔なる態度を以て感謝し出来るだけの援助はして行かなければならぬ。政府なり市なり或は民間の團體なりが、出来る

だけの經濟的の援助はするけれどもが精神的には是は本人が笑つて困苦を忍ぶ、國家の爲に自分は何もする、そして轉業しなければならぬと云ふ精神がなければどうしても完全に行はれない。茲に於て町内で色々困難が生ずるのだらうと思ふが、今から考へて見てもさう云ふ風な困難が、是から先まだまだ生じて来るだらうと私は思ふ。其の困難に堪へ忍ぶだけの用意をして置かなければならぬ。

又例へば今度皆さんに色々のお迷惑を掛けますが、横濱市出動軍人後援會と云ふものは是は去年からやりましたのでありますが、今年に至りますと云ふと、去年よりは兵隊さんの數は殆ど倍になりさうであります。之に對して矢張り兵隊さん若くは其の家族に對して十分なる慰安を與へ、吾々が兵隊さんに對して銃後の後援をして居るのであると云ふ精神だけでも知らせるには相當な金がかかる。是はどうしても諸君の御寄附に俟つより外に仕様がなない。此の寄附でとると云ふことそれ自身が、兵隊さん達の心の中には市役所が租税を以てとり上げたお金ぢやなくて皆が銃後の守りを固くして兵隊さんを慰安しようと思ふ精神から集つた金で

仕事をしてくれるんだと云ふことが又非常に必要なことである。昨年は四十萬圓でありましたが今年は五十萬圓の金を横濱市だけで集めやうと考へて居るのであります。是だけの金を集めると云ふことは生易しいことでは出来ない。恐らくは各町内の御連中は自分でも相當にお苦しみなことでありませうが、又寄附を命ぜられる所の人から見ると云ふと是は實に辛い、此の上租税は上つて来る、商賣は段々難しくなつて来る。さう斯うすると片つ方の町内會長から寄附をしろ寄附をしろと言はれる。之を出さぬと世間から擯斥せられる。是は辛いが已むを得ぬと云ふことで出されること、思ふ。併しながら是も亦國家にとつて非常に必要なことであるから是も已むを得ない。困難を忍んで貰はなければならぬ。其の困難は相當な困難である。

最後の勝利は思想戦に負けないことである

國民精神總動員運動が最も必要である理由

併しながら是はまだ實に易しいことなのであつて、ドイツあたりでは、世界大戰の時に世界の二十九ヶ國を相手にして戦つた。其の時の困難を考へて見ると云ふと、今の吾々の困難はお茶のこさいさい位のものである。今は日本は恐らくドイツと同じやうである。世界を相手にして戦争をすると云ふ意氣を示めさなければならぬ。是から先どの位の困難が生じて来るが分らぬと思ふ。こゝで今の此の困難をどう忍ぶかと云ふ問題でなしに、是から先どの位の困難が来るか知らぬが此の困難に對して打ち勝つだけの精神力を緊張さして置かなくちやならぬと云ふのが、吾々が國民精神總動員運動を起す所以であります。

何故そんならば斯う云ふ運動を特別に思ひ付いたかと云ふことも一應申上げて置かなくちやならないのであります。日本でも元龜、天正の頃は殆ど戦争ばかりして居つた、併しながら日本の中の戦争などと云ふものは洵に景氣の好いもので、愉快な處がある。例へば我こそは檢非違使五位の尉源義經と名乗つて緋おどしの鎧に金覆輪の鞍に跨がつて出て行くなんかは非常に美術的で氣持がいいが、こんなことでは今の戦争は勝てない、戦争は勝ちさへすればどんな事

をしてもよいと言ふのが今の戦争である。従つて近代の戦争と云ふものは洵にいぢきたないものとなつてしまつた。或は微菌を振り撒くとか、毒瓦斯をまくとか、そんなことはまだしも或は思想戦——思想を以て後方を撓亂して行くとか。さう云ふやうな戦術が色々行はれて居る。今の蔭介石がやつて居る所の長期戦——ゲリラ戦と云ふ位のはまだまだお茶の子さいさいのことでありまして、後方撓亂の思想戦と云ふ奴はもつと恐しい防ぎ様のないものである。

ヨーロッパと云ふ處は元來非常に澤山の國が隣合つて出来て居たので中央政府のない封建時代を想像する様な状態であつたから、お互の間の秘密を探り合ひをして自國の利益に供する、所謂探偵政策と云ふものが恐ろしく發達して居る。さう云ふ風な事で諸君も話に聞かれたり、新聞でも見たり或は本でも讀まれたでありませうが、例へば列國が集つてワシントンで軍縮會議をして居る際にアメリカでは秘密探偵局と云ふものを拵へて——拵へたと言つても隠して居つたのですが、やつて居つたと見える。詰りブラックチェンバーと云ふ本に書いてあつたのを見ますると云ふと日本から来る所の政府の暗號電報を悉く皆そこで翻譯さして、談判に當る人

に讀ましてゐた。日本ではこんな事とは知らないで暗號でやるんだから誰も讀みはしない。こつちの大使にしか分らぬ事と思つて大威張て、電報では「軍艦の比率は本當のことは五、五、三でも仕様が無いのだが出来るだけでも少しもいいから頑張つてやつてくれ、もう一步やつてくれ」といふ様なことを誰知るまいと思ふて電報を打つてゐると先方にすつかり讀まれてしまつて、筒抜けで日本では五、五、三で肯定して居るんだ、あれは出来るだけ押して行けど云ふことだからこつちさへしつかりして居れば、屈服するんだと云ふので日本はいい加減なことであしらはれて居る。斯う云ふやうなことが、戦争をしない時でもあるのですから、戦争をする事になつたならば或は色仕懸け懸け懸け、至らざることをなし何でもする。其の中で一番困るのは思想戦である。

最も恐ろしい敗戦思想

例へばヨーロッパで世界大戦の時に段々困難が生じて来る。困難が生じて来ると、此の困難

と云ふものは戦争に依つて起る。戦争が止まりさへすれば此の困難は解消するんだ、あなた方がそんな詰らない政府の方針に従つて戦争をして居るからして此の困難が生ずるのだ。戦争さへ止めれば此の困難はどうに解消してしまつて、戦前のやうな楽しい生活が出来る。戦争を止めるやうな工夫をなさい。戦争を止めやうと言つたつて、戦争を止めると云ふことは容易に行かぬ。戦争を止めるに一番いい方法は自分の國が負けることだ、皆が戦争に勝たう／＼と一生懸命にやるから戦争が長引いて人々が困難するのだ。負けやうとするのなら譯なく成功する。そしたら困難も解消するのだといふやうな思想を國民の間に吹き込むのである。このことを敗戦運動と稱して居ます。それを誰言ふとなく、さう云ふ思想が人から人に傳へ行くやうにする。それを言ひ出す人は皆家庭の人を使ふのである。此手を盛んに使はれたのである。

ロシア帝國も獨乙帝國も思想戦が本で敗れた。

ロシアは戦争の初めにはロシア帝國であつて、ロマノフ王朝であつた。それが聯合國の方に

付いてドイツを攻めて行つたのでありますが、元來ロシアの人民は政府の壓迫に堪へかねて、相當に政府を怨んで居る。其際に後方を擾亂することが出来さへすれば、ロシアは内部から破壊して来るんだと云ふことは誰が見ても分ります。ロシアに對して其の後方擾亂政策即ち思想戦が行はれた。ロシアと云ふ國はそれには洵に都合の好い國である。王朝が盛んで中央政府が亂れ人民の怨みを買つてゐるから、こんな思想戦に逢つてはから意氣地がない。夫にロシアは猶太人と云ふ其目的に尤も都合のいい人種が澤山ゐる。是はヨーロッパに限りませぬが、支那にも相當澤山居るのであります。此の猶太人と云ふものは洵に思想戦に都合が好い。日本人とかドイツ人とかイギリス人と云ふやうなものは皆自分の國を持つてゐる、それぞれ日本の國があり、ドイツの國があり、イギリスの國があるが、此の猶太人と云ふ人種は國を持たない併しながら是は完全な國民の體裁を備へた人種であります。是はドイツにもロシアにも居るし、イギリスにも居るのであります。猶太人はイギリスが潰れやうが、潰れまいが、一向關係ない。ロシアが潰れても一向構はない。猶太人と云ふものは洵に思想戦には都合の好い國民で

ある。自分の氣に入らない政府や國があると潰すのに世話はない、そんなら猶太人といふ人種は貧乏人ばかりかど云ふとそうではなくて、非常に頭が良くて金を儲ける事がうまい。イギリスでもフランスでもドイツでも大金持には猶太人が多い、ドイツの如きは戦争前は非常に濠山居つた。ドイツ、フランス、イギリスでも大きな新聞社、大きな會社は大概猶太人が關係して居た。金持で學問があつて頭がよくつて而も國がないのであるから、どの國でも氣に入らなければ叩き潰すには世話はない。斯う云ふのが一番濠山居るのはロシヤである。こいつらがロシヤの後方を攪亂してロマノフ王朝と云ふものは戦争の最中にひっくり返つてしまつた。新たな國になつて、俺は戦争なんかやりたくない、何とかかんどか言つて、二度か三度か階梯を経て現在のやうな赤い國になつてしまつた。

それからドイツにした所が、戦争は何處へ行つても敗けて居ないに拘らず、到頭最後の階段に至つてほろつと敗けてしまつた。是は何かど云ふと、後方攪亂の思想戦にひつかゝつたのである。思想戦を支配したものは猶太人であらふと思ふが是が形に於ては何がやつたかど云ふと

ドイツの社會黨がやつたのであつて、猶太人は陰に隠れて現はれては居ない。其の原因は何かど云ふと、是は色々の原因がありますけれども、最後に現れたのはドイツの海軍が叛亂したからであります。併し是は一つの近因とでも言ふべきものであるが、精神の緊張が破れんとして居た際であるからたまらない、瞬く間に全國に擴がつて遂にあの結果を招いた。是は肺病なんかの微菌が體の中に喰ひ入ると同じやうに、少しでも隙があると云ふとそこへ入り込む、それを植ゑ付けて行くのは何かど云ふと、蠅とか蚊とか蚤とか云ふものである。それと同じやうに猶太人と云ふものが蠅とか蚊とか蚤といふ微菌傳播の役目を務めるといふことになれば、どんなことでも出来る。獨逸が敗れても英國が亡びても其國に存る猶太人は敗れもしなければ亡びもしないのだから平氣で其國家政府を潰してしまふ。

日本は幸ひにして猶太人の勢力は甚だ微弱であるけれども、そんなら猶太人の勢力は一つもないかど云ふと是は非常に疑がある。現に支那の上海の財閥と云ふものは大體猶太人が支配してゐるといふことである。尤もイギリス人でもフランス人でも財閥と云ふものは多くは猶太人

が支配して居るのであるから上海に於ても同じ事である。日本の兎町でも大阪の堂島でも猶太人の勢力が必ずしもないかと云ふとそれは恐らく斷言は出来ないだらうと思ふ。是は私はよく知らないが、さう云ふ所へ入つて行くことが洵に巧妙である。

敗戦思想は精神の緩みにつけ込む微菌である

斯う云ふ風な状態でありますから日本と雖も思想戦に對しては洵に準備は薄いのであります。前から國民の精神が緊張が足りない戦争が出来ないと申上げました理由も此に在るのであります。戦争に勝たうと云ふことに一番必要なのは敗戦思想に對する準備、是が十分に出来て居ないと云ふと、後方を攪亂せられる。此の後方攪亂と申しますものは之に對する準備がなければ之を爲すことは何でもないことで、先年十數年前に、米の値段がひどく騰つた時、富山縣の富山のちよつと一里ばかり離れた所の漁村のお内儀さん達が、井戸端會議で米がこんな騰つたが是ではとてもやつて行けない、併しある所にはあるものだね、一つ行つて取つて來

ようぢやないかと云ふのが米騒動の始りである。最初はお内儀さん達がやつた事であるが、それが段々擴がつて來るから政府でも傳播を恐れて新聞に書くことを禁じた。所が何時の間にやら一週間立たない内に全國に擴がつて方々で焼打、掠奪が起り東京でも交番や警察が焼打をせられた。若い方は知らないだらうが、年寄はよく知つて居らうと思ふ。

斯う云ふやうなことが今の場合起つたならば、此の日本の戦争と云ふものは全く敗けてしまふ。あれだけの澤山の兵隊が攻城野戦、一度でも敗けたことのない日本でも米騒動が一つ起つたとして御覽なさい。あれだけの戦争が出来ますか、是は敵があつてしたことでもなく單に野次馬の仕業であつてさへ此通りである。敵があつて而も歐米流の思想戦に長じてゐる英、佛、露を向ふに廻しては是ほど恐ろしいことはない。是が國民精神總動員の一番必要な所以である。之を防ぐには國民精神總動員の運動より外に方法がない。

私共は此の問題を輕視してはいけない、此の運動をキャラメルや何かの廣告や屑屋の仕事と間違ふ様な取扱をしては困る。之を防ぐ所の方法と云ふものは國民精神總動員の運動より外に

はない。此の運動に對して一番効果的であらうと考へられるのは町内懇談會であり、之より外に方法はないと考へます。神奈川とか鶴見とか云ふやうな大きな所で手が廻はらなければ吾々が手傳ひに行かうと云ふことを考へ出すのもそこにある。是非此の問題は十分に徹底して行かなければならない。

國民精神總動員運動は經濟運動と間違へられる惧がある。今まで取扱はれた國民精神總動員運動は經濟運動と多く混同されて居る。成程精神の緊張した結果が經濟運動に現れて來なければ經濟運動と云ふものも役に立たないのであります。經濟運動そのものが國民精神總動員の運動だと云ふやうな考へ方をしてはいけません。例へば廢品即ち釘とか古鐵とか云ふやうなものを回収するのに、國民精神總動員の運動で押し進めて行くことは是非必要であるけれども廢品の回収と云ふことが國民精神總動員だと考へることは大きな誤りである。是はよく考へて置かなければならぬ。日本の經濟の單位は世帯であるが、例へば廢品の回収と云ふものは一軒の家から出來るだけ澤山鐵屑を蒐めると云ふのであります。精神總動員の運動は世帯だけ

ぢやない。經濟の單位ぢやない。人間一人一人が單位である。お内儀さんも此の運動に参加して貰ふ。亭主もやつて貰はなければならぬ。子供も一緒にやつて貰はなければならぬ。有りと總ゆる國民が一人一人皆此の一つの方向に向いてくれないと云ふと、此の運動は成功しない。

此の運動を徹底させるには精神の緊張がなければならぬ。精神が健やかでなければならぬ。精神的健かさがないと、精神に緩みを來たと云ふと、色々な微菌が入つて來る、丁度人間の體が微菌で侵されたのと同じやうに精神の緩みが國民の間に生ずると云ふと、折角の戦勝を喰むやうになつて來るのであります。戦争が長くなれば前にも申した通りで色々な困難が生じて來る。困難は不平不満を生む、思想的攪亂の乘せんとする所は此處に在るのである。國民の意氣の旺盛な時に戦争に對する呪の聲を出せば叩き殺されるかも知れない。併し意氣が衰へて不平不満を洩すに至ると此聲に唱和して呪の聲を出すと一しに身に沁みて聞かれる。是が思想戰の乘じ處である。是には是非此の緊張を缺かないやうにしなければならぬ。緊張を缺かないやうにして戦争に勝つためには積極的に色々なことをするんだと云ふ攻撃精神を養はなくてはならぬ。

ならぬと考へて居ります。さうするには勿論二つの方法がある。個人の精神の緊張を計ると云ふことと又團體的に精神の緊張を計ると云ふことが是非必要である。一人一人の考と云ふものはそれぞれ緊張して居る。私も非常に緊張してゐると思ふが、隣りの人から見ると、青木の精神と云ふものはふらふらして居る。あれでは心配だから俺が行つてひつばつてやらうと云ふやうなことになる。本人は緊張して居る積りだが、今に何かあつたらば、へこたれてしまふ。本人には氣が付かない場合が少くない。是は村々でお互に勵まし合つて行かねばならない。丁度五人三人一緒に歩くと私はどうも草疲れたから休まふと云ふことになる。いやもう少しだから一緒に歩かうぢやないかと云ふので行くことが團體的精神の緊張でありますから、是が是非此の戦争の爲に必要であらうと思ふ。

日本精神の眞髓

段々長くなつて來ましたが、近來日本精神を高調すると云ふことを申しますが、日本と云

ふ國は有難いことには家族と云ふものを一つの單位として形成して居る。一軒一軒の家族があるが、一軒一軒の家族を全部集めると日本と云ふ一つの大きな家族になる。家族の頭に家長があり國の頭に天子様がお出でになる。だから團體精神が一条糸れす統一せられて行く、此の家族精神を緊張さして行くこと云ふことが日本精神を世界に示す所以である。先程申した傷いた兵士の母の美談の如きも此精神の現れであります。

此の間から此の神奈川會館でも色々御講演があり——毎週か毎月か日蓮宗の御講義があるのであります。田中智學先生の書かれた所の日蓮主義の本を読んで見ましたが中々面白いことが書いてある。それも或は御覽になつた方も居りませうが、其のことでちよつと申上げます。オーストリーにシュタインと云ふ人が居つた、是は國法學者である。憲法學者と云つたやうな人である。伊藤博文さんなんか此のシュタイン先生の教訓を受けたものである。日本の憲法を制定することに非常に與つて力のあつた人である。日本から偉い人が行くこと、シュタイン先生の門を叩いて教を乞ふ。シュタイン先生は學者で偉い人だけれども、色々日本の國

情を知らなかつたから、伊藤さん日本にはどうも公共風俗と云ふものがあるさうだが、公共風俗と云ふものは感心しない、是が盛つては日本は發達しないぞと喧ましく言はれた。伊藤さんもシュタイン先生が日本の風呂屋を攻撃せられる趣旨がよく分らなかつた。考へて見ると、ローマを亡したのは公共風俗である。日本の風呂屋をローマの公共風俗と同じやうに考へられたのだらうと云ふ笑ひ話も失敗話もある。

口中先生の本を見まなど海江田子爵がヨーロッパを廻つた時にも亦此先生の門を叩いた所がシュタイン先生が海江田子爵に言はれるには、僕は日本の偉い人に逢ふ度に日本の國は實に珍しい國だが、何か歴史の上に變つたことがあるんぢやないかと、日本の人が來るたびに聞いて見るが、皆自分の國は古いけれども洵に詰らない國でありまして、何にも申上げる程の違つた所もありませぬと誰でも日本の國を自慢する人がない、貴君には何か意見はないかと海江田子爵に聞かれた、海江田子爵は其時に國學者の何とか云ふ人を一緒に連れて行つた。いやそれはこゝにお出でになる國學者の方にお話を願ひませうと云ふことになつた。國學者の先生は

此處ぞとばかりにそれは日本の國は詰らないなど云ふのは以ての外である。日本は立派な國で歴史上こんな變つた國は世界にないと思ふ。日本は萬世一系の天皇が國をしろしめして居られて、三千年間只一つ弓削の道鏡と云ふものが狙つたことがあるが、これ一人だけで、天皇の位を狙つたことはない。徳川の如きは十五代の覇を唱へたが、天皇は大切だと云ふので、宮様をお連れ申して寛永寺にすゑて居ります。皇室と云ふものは日本國民が皆自分の親のやうに考へて居つた。又皇室でも日本の國民を悉く自分の子供のやうに考へて居つた。是が三千年來一つも變らない國柄であると云ふと、シュタイン先生それだらう是がなくちやならぬ。自分は來る人毎に聞いて見るが、誰も詰らぬと言つて聞かせてくれる人がなかつたが、それを聞いて私は本當に日本が變つた所があると云ふことを今初めて知つた。

ヨーロッパ諸國と云ふものは、中世紀頃無數の豪傑が互に勢力を張り合ひ、丁度群馬あたりの様に小さな城持が互に相争うて戦争して居つたがそれが段々大きくなつて、フランスだとかドイツだとかイギリスと云ふやうな國が出來て來たのであるが、皆どんぐりの背比べである。

皆相争うて互に戦争して行き詰つて来た、自分勝手なことをする。自分が勝手なことをする爲には人を追ひ除けて行く、人を征服して自分の慾望を満足させようと云ふことになるより外に仕様がなない。それでは何時までたつたつて戦争が絶えない、こんなことでは世界は行き詰つて行くんだ、此の世界が行き詰る時に何とかして行き詰らないやうな方法を樹てるのには世界の國を全部しろしめすと云ふ大きな力がなくちやならぬ。其の力のある、又道徳的の力のある何處かの偉いものが出て来て、各國の頭を抑へなくては世界の平和は確立しないと考へて居つたが、さればと言つてドイツが支配することも出来ない、アメリカも支配することが出来ない。況んやイギリスも支配することは出来ない。是はどうしても之を支配するものは若し人間であるとするならば、一番古い歴史を持つ貴族が来て、それが頭になつて、其の人の言ふことを聞くとか、何とか言ふことでなければ、世界は常に互に相殺生して自分の贅澤をすると云ふことはどうしても絶えないことになつて来る。人の物を取り上げて自分が贅澤をすると云ふ者が多くなる。是ではどうしても世界は成立つて行かない。行き詰つて来る。行き詰まるたびに戦争

と云ふことになる。

戦争をなくす爲には誰か世界の上に立つて行かなければならぬ。自分の贅澤をすると云ふことでなく、日本の天子様が、日本の國民は皆朕の子である。國民にして其の處を得ないことがあつたならば、それは朕の過ちであると仰しやるやうに道徳的な力がなくてはならぬ。他のさう云ふものが假りになつたとして見た所が只の者がなつたのでは人が承知しない、貴族でなければならぬ。貴族も一番古い貴族でなければならぬ。是はどうも世界の平和を維持して行く者は日本の皇室あるのみだと云ふことをシユタイン先生が言つた。是は田中智學先生が書いたばかりでない、色々あちらからもこちらからも其のことが言はれた。海江田子爵が歸つて来て明治天皇にお話申上げたことを其の傍で聞いて居つた人も其のことを書いてゐるさうである。是は日本が世界を慾望の爲に征服しようとするのではないが、斯う云ふ有難い國である所以と云ふものは今の天皇が日本の國民の上に立つて親の地位に立つてさうして國民は皆朕が赤子である。それで國民にして其の所を得ざるものがあるならば、朕の過ちである。天は朕をせめて

國民をせめるなど云ふことを仰せられた、斯様に道徳的な力のあるものでなければならぬ。是が日本精神の眞髓であると私は考へます。

斯う云ふ風なことで日本は支那との戦争で支那の領土を取つて日本の國にしようとか、何ぞか云ふさう云ふ風な下卑た考と云ふものは一つもない。又將來誰かがそんなことを考へるかも知れませぬが、天はそんな不道徳なものに組する譯はない。而して日本は日本だけから考へて見ると平和に生活をしなければならぬ。平和にして行かなくちやならない。日本を常に敵として子供を教育し日本に隙があつたならば何とかして日本を叩き潰さうと云ふやうな國が隣りにあつたならば、枕を高くして寝られない。是が日支事變の根本であります。

結 語

この様な有難い國に生れこの國を子孫に遺すことは吾々の愉快な義務である。是には何としてもこの戦争に勝たなければならぬ。之には是非國民精神を一つ所へ向はせて皆が此の戦争に

勝つといふことに一心にならねばならないのである。國民の精神の緩みは結局不平不満から起る。國民に不平不満の心のないやうにするには國民が如何なる困難も戦に勝つ爲めには堪へ忍ばなくてはならぬ、公平とか平等とかとかいふことは平時のことである。戦は切端つまつた事である。公平だの平等だの自由だのと云ふことを考る暇のないことである。隣の權兵衛さんは家で晝寝をしてゐるのに俺一人兵隊に取られるのは不公平だと考へる人は今日ではありますまいが、經濟や物資やに付ての不平等、不均衡も丁度兵隊と同じ様に戦時には已むを得ざる事情が生ずるのである。公平自由を考へる暇のないのが戦争である。そんなことに不平不満の考へを起すことが敗戦思想などに附け入られる原因であることを充分に徹底せしむるには此總動員運動の外はないと云ふことを十分に認識をして、それも此處にお集りの方が認識をしたのみでは足りない、子供もお内儀さんも亭主も何もかも國民一人残らず認識をしなければならぬと云ふことが吾々國民精神總動員運動を起した所以なのであります。

甚だ長いこと申上げましたが、今日は殊の外蒸し暑い日でありましてお氣の毒でございます

386
595

昭和三十三年十月十日印刷
昭和三十三年十月五日發行

横濱市社會教育課

横濱市中區不老町一ノ九五

印刷者 安田清男

横濱市中區不老町一ノ九五

印刷所 安田印刷所

たが、併しながら是位の困苦はお茶の子さいさいで何とかして國民が此の戦争に打ち勝たなく
ちやならぬと云ふ攻撃精神を旺んにして將來長く何時までも此の精神を續けて行く爲に色々の
工夫をして近所隣合を總動員して行かれるやうに希望に堪えませぬ。甚だ長いこと申上げまし
て失禮致しました。(終)

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字列が続く）

終

